

事務事業名	各種スポーツ教室開催事業		所属部局	教育委員会		単位番号	12374									
			所属課室	生涯学習課		課長名	新津 岳									
	☐ 実施計画事業		所属担当	社会体育		担当者名	名取 恵美									
基本政策	基本計画体系	V 個性と文化を育む都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目						
政策		26 スポーツ・レクリエーションの振興	事業区分	01	一般	1	0	0	5	0	5	0	2	0	0	9
施策		40 スポーツ・レクリエーション活動の推進		☐ 国の制度による義務的事業	☐ 施設等維持管理事業											
				☐ 県の制度による義務的事業	☐ 補助金交付事業											
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 15 年度)		法令根拠	☐ 市の制度による義務的事業 ☒ その他の事業 ☐ 義務化されている協議会等の負担金												
	☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)															
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 老若男女を問わず市民の体力向上・健康増進を目的とし、スポーツを通じた地域交流、世代間交流による生きがい作りに繋げる為、各種スポーツ教室を開催する。		事業費の主な内訳 (22年度)													
			項目(細節)		金額(千円)		項目(細節)		金額(千円)							
			講師委託		6,239		教室等チラシ		242							
			教室用消耗品		217		施設使用料		52							
			折込チラシ		202											
						計								6,952		

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動	
22年度活動実績	スミリング・エアロビクス・ダンベル体操・子どもの運動・ゴルフ教室・スキー教室等14種目を実施。
23年度活動予定	スミリング・エアロビクス・ダンベル体操・子どもの運動・ゴルフ教室・スキー教室等14種目を実施。
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	
市民	
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	
市民が運動の必要性を認識し、スポーツを行きつけと生きがい作りに繋げる。	
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	
市民の体力が向上し教室が地域交流の場となりスポーツの必要性を認識生きがい作りに繋がる。	

⇒ ⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 教室募集人数	人
イ 開催教室数	教室
ウ	
⇒ ⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 人口	人
イ	
ウ	
⇒ ⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 参加者数	%
イ	
ウ	
⇒ ⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 良かったと感じた人	%
イ	

(2) 事業費・指標の推移		単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算見込・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終 年度 (トータルコスト・目標)
年間 トータル コスト	事業費	国庫支出金	千円						
		県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円	4,154	4,000	4,000	4,000	3,500	3,500
		一般財源	千円	3,419	2,952	3,618	3,465	3,500	3,500
		事業費計 (A)	千円	7,573	6,952	7,618	7,465	7,000	7,000
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	3	3	3	3
		延べ業務時間	時間	1,000	1,000	1,000	900	900	
		人件費計 (B)	千円	4,461	4,461	3,962	3,566	3,566	0
		(A)+(B)	千円	12,034	11,413	11,580	11,031	10,566	0
活動指標	ア	人		1,602.0	1,582.0	1,582.0	1,400.0	1,400.0	1,400.0
	イ	教室		79.0	77.0	77.0	60.0	60.0	60.0
	ウ								
対象指標	ア	人		1,486.0	1,500.0	1,500.0	1,400.0	1,400.0	1,400.0
	イ								
	ウ								
成果指標	ア	%		70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0
	イ								
	ウ								
上位成果指標	ア	%		35.0	35.0	35.0	35.0	35.0	35.0
	イ								

(3)この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか？	市発足当初から市民が気軽にスポーツに親しみ、健康・体力作りが出来るきっかけとなるよう行われている。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか？また、今後の予測は？	スポーツによる健康作りが大切であることは今も変わっていない。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか？	

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は？	☐ 取り組みしている ⇒【内容！】 ☒ 取り組みしていない ⇒【理由！】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	様々な教室の導入。 応募状況から対象種目の変更を頻繁に行っている。
③ H 22年度に実施した改革改善の内容	特に無し。

事務事業名	各種スポーツ教室開催事業	所属部	教育委員会	所属課	生涯学習課
-------	--------------	-----	-------	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？ 意図が上位目的に結びついているか？	☐ 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由↓】 市民のスポーツ・レクリエーション活動の推進に役立っている。
	②公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPOに委ねることは可能か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由↓】 市内にも民間のスポーツクラブ等ができ、スポーツをする環境は整ってきた。
	③維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 適切である ⇒【理由↓】 スポーツを始めるきっかけ作りとして初心者教室を行っているが、同じ教室を何度も参加する者も居て、個人の活動に繋がっていない。
有効性 評価	④成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 向上余地がない ⇒【理由↓】 教室には市民のニーズを取り入れた取り組みを行っている。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	☐ 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) ☐ 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 ☒ 類似事務事業がない
	⑥休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☐ 影響なし ☒ 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 気軽にスポーツを始めるきっかけが減る。 ☐ 休止・廃止ができる ☒ 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 市民のスポーツ振興ができなくなる。
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 初心者に限定し、参加経験のある者は参加料の増額もしくは、レベルアップのできる市内業者へ繋げる案内を行う。
	⑧人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方・見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 教室は外部委託となっている。
公平性 評価	⑨受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由↓】 市民を対象に一般公募を行っている。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
①目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ②有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	市民がスポーツに親しむきっかけ作りにはなるが、初心者対象を徹底する必要がある。また、対象種目の入れ替えを頻繁に行う。 この事業も南アルプス市体育協会で実施できる業務か検討する必要がある。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可		(3) 改革・改善による方向性																						
☐ 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 事業統合・連携(有効性⑤の結果) ☐ 公平性改善(公平性⑨の結果) ☐ 休止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 成果向上(有効性④の結果) ☒ 現状維持(全評価項目で適切) ☐ 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)		<table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト水準</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果水準</th><th>向上</th><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr><tr><th>維持</th><td>☐</td><td>☒</td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td>☐</td><td></td><td></td></tr></table>				コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☐	☐	☐	維持	☐	☒		低下	☐		
		コスト水準																						
		削減	維持	増加																				
成果水準	向上	☐	☐	☐																				
	維持	☐	☒																					
	低下	☐																						
(2) 改革改善案について		※ 廃止・休止の場合は記入不要																						
① 体協実施を検討 ② 対象種目の入れ替え ③		(5) 事務事業優先度評価結果																						
		成果優先度評価結果	⑥																					
		コスト削減優先度評価結果	⑨																					
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策																								
① 体協との検討 ② マイナースポーツの扱い ③																								